



第71回日本 P T A 全国研究大会広島大会並びに第53回日本 P T A 中国ブロック研究大会広島大会

「大会シンボルマーク」を募集しています！

令和 5 年 8 月に日本 P T A 全国研究大会広島大会並びに日本 P T A 中国ブロック研究大会広島大会を開催します。大会開催にあたり、P T A 会員の皆様から「大会シンボルマーク」を募集します。

審査は選考委員会にて行い、優秀作品を選定します。たくさんの応募をお待ちしています！

★ 応募対象：広島県 P T A 連合会加盟の公立小・中学校の児童・生徒と保護者、教職員

★ 応募締切：令和 3 年 2 月26日(金)必着 ※詳細は所属の小・中学校または広島県 P T A 連合会事務局まで。



～令和 2 年度全小・中学校 P T A 母親代表研修会を開催しました～



令和 2 年12月 5 日(土)～12月 7 日(月)に令和 2 年度全小・中学校 P T A 母親代表研修会を開催しました。広島県内各地から会場にお越しいただくことができないため、限定配信にて視聴いただく形となりました。

講演内容やアンケート結果は 3 月発行の「陽だまりNo63」号で詳しくお伝えします！



第49回広島県 P T A 研究大会 東広島大会

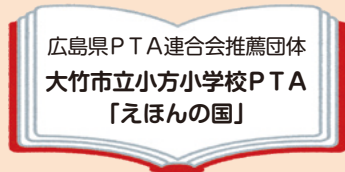
開催日 令和 3 年 9 月12日(日)
オンライン開催を予定しています！



第49回広島県読書推進運動協議会表彰

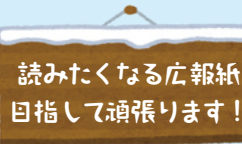
県内の読書活動推進を目的とし、P T A 活動の一環で読書活動に取り組む団体を推薦しており、理事会でこちらの団体を推薦することとなりました。おめでとうございます。

広島県 P T A 連合会推薦団体
大竹市立小方小学校 P T A
「えほんの国」



令和 2 年度広報委員紹介

山田 洋子 (大竹市)
高橋 友香 (福山市)
森山 梨恵 (江田島市)
辰己 寛 (豊田・竹原)
吉川 徹 (山県郡)
黒木 美穂 (庄原市)



県P連だより

広島県 P T A 連合会



「楽しい子育て全国キャンペーン」 ～家庭で話そう！ 我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～三行詩 令和 2 年度「広島県 P T A 連合会賞」受賞一覧

三行詩にご応募いただきありがとうございました。広島県 P T A 連合会内での選考により小学生の部・中学生の部・一般の部の優秀賞を決定しました。受賞作品は日本 P T A 全国協議会へ推薦を行っています。

学校名	学年	名 前	作 品
福山市立御幸小学校	2 年	おお ひら さく た ろう 大 平 朔太郎	妹は生きているだけでも百点まん点 むずかしいびょうきだけれど とっても元気 そんな妹だから ぼくがまもっていくよ
福山市立御幸小学校	3 年	さか た いち と 坂 田 一 燈	父さんはライバル 今は負けこし 未来は勝ちこし
福山市立御幸小学校	5 年	み はら さ つ き 三 原 咲 月	お買物したいな。 でも、外出自粛中。 それなら、お家で、 家族の幸せを、 心のカゴに。
福山市立御幸小学校	6 年	やま なり か りん 山 成 花 凜	ぼつんとこぼれたその言葉 言わなきゃよかったその後悔。 涙があふれるこの気持ち。 反抗期です。11さい。
庄原市立東小学校	5 年	いわ さき みなと 岩 崎 湊	私が泣いている時 弟はそっとなみだをふいてくれる 私が落ちこんでいる時 弟は私を笑わせてくれる 今こそ正直に伝えたい いつもありがとう



学校名	学年	名 前	作 品
東広島市立安芸津中学校	2 年	やま の あや な 山 野 純 菜	お母さん似 お父さん似 私はどっちもうれしいな 一言言わせて「生んでくれてありがとう」
東広島市立安芸津中学校	2 年	まえ だ ひかり 前 田 ひかり	ありがとうを言いたい。 いつも遅くまで働いている父 いつも家事をしてくれる母 ありがとう。
福山市立内海中学校	1 年	むら かみ り こ 村 上 璃 子	我が家のルールは ケンカの後でも 「おはよう」「おやすみ」「ありがとう」の あいさつは絶対 あいさつで気持ちはなぜかリセット
福山市立内海中学校	2 年	はら その さつ き 原 園 咲 季	笑って仕事する父と母は 誰よりも かっこいい。
三次市立十日市中学校	2 年	にし こり し おり 錦 織 し 汐 織	大の字に 家族三人 ころがって その日の出来事 大発表会

充実の補償で お子様を サポートします

●誤って他人のものを
壊したり、他人にケガを
させてしまったら…
(加害事故の補償)

インターンシップ (職場体験)
等に起因する法律上の賠償責任
も対象になります。

●授業中やクラブ活動な
ど、校内外を問わず発生
する急激かつ偶然な外来
の事故によるケガや病気*
の補償

*病気入院補償は
Hプラン・Wプラン
のみ対象です。



団体割引適用で 割安な保険料！

団体割引30%
損害率による割引35%適用
メディカルアシストでお客様の
健康相談を24時間受付

●学校管理下中の学用品・
身の回り品などの補償
●育英費用 等

充実の補償でお子様をサポートします。

広島県 P T A 連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度は団体総合生活保険のベトナムです。
この広告は「広島県 P T A 連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。
詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。
この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。
令和2年12月作成 募文No20-TC06267



引受幹事保険会社
東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店：(株)東京海上日動パートナーズ中国四国 TEL：0120-018-217
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社 TEL：082-511-9194

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保
MS&AD INSURANCE GROUP

学校名	名 前	作 品
呉市立天応中学校	さ とう まこと 佐 藤 誠	反抗期 自分のことを思い出し 子供に寄り添う
呉市立天応中学校	あら もり けい こ 荒 森 圭 子	ほどよく保つ 人とのキョリ その分、心はより密に、 つなげていこう 笑顔の輪
福山市立道上小学校	ひ の よし こ 日 野 佳 子	お父さん お母さん お兄ちゃんも妹も、 家族ひとりひとりができるお手伝いをして、 みんなで協力、助け合う。
三次市立八次小学校	つた よし こ 蔦 佳 子	コロナ禍で 家族のきずな 深まった



～令和2年6月開催の「全小・中学校PTA会長研修会」にて「入試改革について」のお話を伺う予定でしたが、コロナ禍で叶わなかったため、広島県PTA広報紙に寄稿いただきました。～



平川理恵教育長

平素より本県教育への御支援・御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
現在の中学校1年生から対象となります、令和5年度入学者選抜から実施する「新しい広島県公立高等学校入学者選抜制度」につきましては、昨年12月18日の県教育委員会会議において決定し、「メッセージ」と併せて小・中学校等への通知、また、広報誌「くりっぷ」や県内全ての公立中学校1年生にお配りしたリーフレット「広島県の公立高等学校の入学者選抜制度が変わります」により、保護者の皆様にもお知らせをさせていただいたところです。この新しい「入学者選抜制度」の趣旨につきましてお話をさせていただきます。

本県では、平成26年12月に策定した広島版「学びの变革」アクション・プランに基づき、児童生徒が自ら課題を発見し、解決していく能力を培うなど「主体的な学び」を促す教育活動に取り組んでいることや、「新学習指導要領の趣旨を踏まえた各高等学校の教育目標の実現に向け、入学者選抜の質的改善を図ること」を求めた平成31年3月の文

部科学省の通知等を踏まえ、「広島県の15歳の生徒にどのような力を付けさせたいか」という観点から、入学者選抜制度の改善を行うこととしました。

昨年9月に実施しました「入学者選抜制度の改善（素案）」に対するパブリックコメントにおきましては、児童生徒あるいは保護者の皆様からも多くの意見をいただきました。当時の中学生からは、「内申点にビクビクしながら学校に通っていて、いろいろなものを犠牲にしてきたのに今さら悲しい。」「改革されることがわかっていたら、もっとクラブや趣味などにも目を向けて、違った意味での充実した中学校1年生を過ごせたとはいえず、本当にひどすぎます。」など、調査書を気にして自分のやりたいことを我慢し、中学校生活を送っているといった意見が多く寄せられたところです。これらの意見は、まさに中学生の「生の声」であり、「学びの变革」をより一層推進し、子供たちの「主体的な学び」への理解を拡げていく必要があると、改めて実感したところです。

こうした背景があり、改善の視点である「広島県の15歳の生徒に付けさせたい力」といたしまして、「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」をお示ししました。これらの「力」は、子供たちがこれから大人になり、社会に出ていった際に、必ず必要となる「力」であり、本県の全ての子供たちには、こうした「力」をしっかりと身に付けてもらいたいと考えていますが、こうした力を身に付けることは、15歳で完成するのではなく、子供たちが、これから社会で活躍していく上で、継続して必要となってくるものであり、小学校から中学校、高等学校へと段階的に育み、繋げていくものだと考えています。

こちらの図は、先述したリーフレットの表紙に掲載しているものです。まず、個人のレベルで「自己認識」します。自己認識することは、大人でも難しいことですが、例えば、「自分は何者か?」「どういう人間なのか?」、「どんな人生を送りたいのか?」、「何が好きで何が嫌いなのか?」という問いを自ら発し、自分なりの答えをもつということだと考えています。「自己認識」には、「自己開示」できる環境が必要であり、「何を言っても許される」、「正直に言える」という「安全安心な環境」と「相手を受け入れる深さ」がなくてはなりません。それらがあって初めて、「自己表現」や「自己実現」に繋がっていきます。



子供たちが日々、成長し続ける場である学校や家庭が、何でも思ったことを話ことができ、「自己開示」できる安全・安心な場であることが大切だと考えています。学校の先生方には、小・中・高の全ての学校において、日々の教育活動の中で、子供たち一人一人が、自分の意見や考えをしっかりと持ち、大切に、先生や友達に心を開いて話することができる雰囲気づくりや環境づくりを進めていただくようお願いをしたところです。

今後は、これらの制度を改善した趣旨や視点、各学校において取り組んでいくことなどにつきまして、教職員一人一人がしっかりと理解し、授業をはじめとした日々の教育活動の充実につけていくことが大切であると考えています。県教育委員会といたしましても、子供たちが「主体的な学び」の意義について、しっかりと理解をすることができるような取組をより一層進めてまいります。

保護者の皆様におかれましては、本県の新たな入学者選抜制度が、子供たちにとってより良い制度となるよう、引き続き御支援・御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

《参考》広島県教育委員会ホームページ「ホットライン教育ひろしま」／広島県公立高等学校入学者選抜制度の改善について
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/sennbatsu-kaizen.html>

令和2年度広島県PTA連絡協議会が開催されました！

9月19日(土)合人社ウェンディひとまちプラザにて、広島県PTA連絡協議会が開催されました。この協議会は、広島県高等学校PTA連合会、広島市PTA協議会、広島県PTA連合会の3つの団体で構成し、広島県の教育の振興・発展のため相互連携することを目的とし活動しています。

新型コロナ感染症対策を行った上で、各団体の三役、事務局メンバーが参加しましたが、今回は「オンライン講演会について」と題して、香林信二氏にZOOMを使った講演をしていただきました。

ZOOMの基本的な使い方から、「ブレイクアウトルーム」という参加者全員を複数のグループに分ける機能も体験しました。研修会や研究大会で言えば、全体会から分科会形式をリモートで行うことができ、さらに講師が各グループをそれぞれ訪問できるなど、応用がきく講演内容でした。

コロナ禍で急速に普及したZOOMですが、さらに深く勉強することができ、ICT環境に触れる良い機会となりました。



講師による講演・全体風景



～広島県PTA連合会理事会風景～

今年度は新型コロナウイルス感染症の予防対策の一環で3月に突然の休校、続いて4月の緊急事態宣言で再度の休校措置となり、PTA連合会でも6月に行う予定だった総会は書面審議、しばらくの間理事会も開くことができませんでした。



理事会の様子

夏休みの短縮や学校行事の中止など、子供たちにとって今までと違う学校生活となりましたが、PTA活動を止まったままにせず、withコロナで前に向かって進むことが大切だと思います。

感染症予防対策を行った上で、今できることを新しい形で。8月より理事会も再開し、皆さんマスク姿で頑張っています。

＼ 楽しく作って！食べて元気に！ / ～食育のススメ②～



突然ですが、みなさんの思い出に残っている学校給食のメニューは何ですか？ お子さんの好きな学校給食のメニューは何ですか？「カレーライス」？ それとも「揚げパン」？ はたまた「冷凍みかん」でしょうか。中には、「給食はあまり得意じゃなかった…」という方もおられるかもしれませんね。

日本の学校給食は、明治22年、山形県で実施されたのが始まりとされています。戦時中は一時中断されましたが、昭和29年には「学校給食法」が制定され、その後も、現在に至るまで、学校給食は「お腹を満たす」だけでなく、学校給食を通して、マナーや健康によい食事のとり方、安全や衛生に気を付けた準備や後片付け、食品に含まれる栄養素の働きに関する学習など、学校教育活動の一環として、普及・充実が図られてきています。

本県でも、学校給食を活用した食育推進の方策として「ひろしま給食100万食プロジェクト」を平成25年度から展開しています。今年度は、全国学校給食週間（1月24日～30日）に合わせて、県民投票で選ばれた家庭でも簡単にできる栄養バランスを考えた「ひろしま給食」を全給食実施校で提供します。レシピはチラシや広島県教育委員会のホームページでお知らせしますので、ぜひご家庭でお子さんと一緒に作ってみてください。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「新しい生活様式」に伴い、学校給食の場面にも変化が生じています。会話しながら対面で食べていた給食の時間が、感染症予防対策のため、全員が前を向き、席の間隔を空けて、会話を控えて黙々と食べる時間になりました。感染リスクを可能な限り低減するためやむを得ないことなのですが、仲間と一緒に会話を楽しみながら食事をする中で、お腹はもちろん心も満たし、元気になる機会が減っています。私たち大人にも共通するところがあるのではないのでしょうか。

食を共にすること、「共食（きょうしょく）」には、「一緒に食べる」ことだけでなく、「何を作ろうか?」、「おいしかったね」と話し合うことも含まれます。家族や仲間と一緒にできることはこんなことがあります。

- どんな料理にしようかを考えること
- 材料を揃えること（買い物、収穫など）
- 料理を作ること（下ごしらえ、調理、盛り付けなど）
- 配膳、食卓の準備、声掛けをすること
- 食べること
- 後片付けをすること（食器を片付ける、洗う、廃棄、保存）
- 感想を話したり、聞いたりすること（次の食事のために、おいしかったか 等）



クリスマス・年末年始など、家庭で過ごす時間が増える時期になります。お子さんと一緒にできることから始めてみませんか。来たる令和3年が、みなさんにとってよりよい一年となりますように。

広島県教育委員会 豊かな心と体育育成課